

手間がそれほどかからない範囲で集められるデータ、  
すでに手元にある統計など、数値の把握や集計について

自治体名：ニセコ町

### 1. 3分野について：

好循環モデルは、「省エネ建築」、「建物設備」、および「家電」の3分野において構築してゆくことが決められています。それぞれの3分野でどのような集計をしてゆくかの詳しくは、サイボウズのそれぞれのスレッドをご覧ください。

また、3分野すべてについて、初年度からそれぞれの自治体が手掛ける必要はありません。以下のデータの記載については、今年度中に構築するつもりのものについては、その旨も記載し、とりわけ詳しく記述して下さい。それ以外の分野については、参考程度にどのような数値把握が考えられるのか、何かの政策、対策、アイデアがあれば、記載ください。

### 2. 「省エネ建築」については、

**1-1**：（新築、公共建築）と **1-2**：（新築、民間&助成措置や義務化などで役場が把握できるケース）、  
および、

**2-1**：（改修、公共建築）と **2-2**：（改修、民間&助成措置や義務化などで役場が把握できるケース）

の4つの部門で統計を取ったり、数値を把握することができれば、ある程度は割り出せると考えています。

そこで、この下に追記する形で、各自治体で集計が取れる情報、数値について記述してください。

### ★省エネ改修助成制度を実施中（2-2に該当）

- ・工事費が30万円以上（消費税を含む。）で、H25省エネ基準（改修の場合はほぼH11基準）に対応する次の①から④の工事のうち、①の工事または①を含む工事。

①全ての窓の断熱改修工事（必須工事※）

②天井等の断熱改修工事 ③壁の断熱改修工事 ④床等の断熱改修工事

窓全てが既に基準を満たしている場合、省エネ基準に対応する②～④の工事のみでも対象。

- ・補助対象工事費と標準的な工事費用のいずれか少ない金額の20%（上限30万円）。

※次年度より窓以外の部分について改修する場合は上限を50万円とする予定。

把握できる数値：

- ・申請件数
- ・それぞれの案件における省エネリフォームの投資総額と助成総額
- ・それぞれの案件における省エネリフォームの内容
- ・改修した住宅の床面積等（平面図・立面図）

不足していると思われる数値：

- ・省エネリフォーム前後のエネルギー消費量及び金額（削減効果がわからない）

#### ★公共建築の省エネ新築、改修を実施（1-1、2-1）

把握できる数値：

- ・公共建築の省エネ新築、改修の件数
- ・省エネ建築、改修の内容
- ・初期投資額とランニングコスト（一部）

不足している数値：

- ・公営住宅の省エネ改修前後のエネルギー消費量（削減効果がわからない）

※今年度改修した住棟について、住民への調査は可能だが、数値を抑えられるかは不明。（昨年度のエネルギー消費量を住民が持っていないと比較ができないため）

#### ★民間賃貸住宅建設費補助制度（平成30年度より実施予定。内容について現在検討中。）

検討中の内容（補助の要件）

- ・住戸面積：60～65 m<sup>2</sup>以上
- ・間取り：2LDK以上
- ・住宅戸数：1棟4戸以上
- ・駐車場の確保（2台/戸当たり？）
- ・堆雪スペースの確保
- ・断熱性能：UA値の設定（省エネ法基準値 or 省エネ法基準値+ $\alpha$ ） 0.38w以下？
- ・遮音性能：RCスラブ150相当、界壁Dr50以上
- ・性能の見える化
- ・施工者：町内事業者だと100%補助、町外だと80%。きた住まいるメンバー（検討中）
- ・入居者は住民票を移すこと

- ・家賃の上限設定（建設費の0.7%or0.8%）
- ・補助額：150万/戸当たり前後

### 3. 「建物設備」については、

建物新築時や新設時に多少イニシャルが高くとも、省エネ効率の高いものを導入するというのは、当たり前のことすぎて、持続会としてさらに取り組むべき内容ではないと思われるため（助成措置などを実施しても、効果のあまり見込めないバラマキになる、公共建築における建物設備で市場にある最高水準の省エネ性能の高い設備を検討しないこと自体が、人口少数でありながら、域内経済の好循環を望む自治体としては劣悪な行為でしょう）、新設は省略する旨、サイボウズでは提案していません。

したがって、

**2-1**：（更新、公共建築）と**2-2**：（更新、民間&助成措置や義務化などで役場が把握できるケース）

の2つの部門で統計を取ったり、数値を把握することができれば、ある程度は割り出せると考えています。

そこで、この下に追記する形で、各自治体で集計が取れる情報、数値について記述してください。

★町民センターの暖房設備を重油ボイラから地中熱ヒートポンプに更新。（2-1、2-2）

把握できる数値：規模、投資額、エネルギー料金比較

★町内すべての街路灯650基のLED化。（2-1、2-2）

把握できる数値：

- ・LED照明数、投資額、電気料金比較

★観光ホテルでLED化。（2-2）

把握できる数値：

- ・取組の有無（ヒアリング中）

不足している数値：

- ・電気料金比較、投資額、照明数（ヒアリングすれば可能？）

### 4. 「家電」については、

建物新築時や新設時に多少イニシャルが高くとも、省エネ効率の高いものを導入するというのは、当たり前のことすぎて、持続会としてさらに取り組むべき内容ではないと思われるため（助成措置な

どを実施しても、効果のあまり見込めないバラマキになる、公共建築においての家電で市場にある最高水準の省エネ性能の高い設備を検討しないこと自体が、人口少数でありながら、域内経済の好循環を望む自治体としては劣悪な行為でしょう）、新設は省略する旨、サイボウズでは提案しています。

したがって、

**2-1**：（更新、公共建築）と**2-2**：（更新、民間&助成措置や義務化などで役場が把握できるケース）

の2つの部門で統計を取ったり、数値を把握することができれば、ある程度は割り出せると考えています。

そこで、この下に追記する形で、各自治体で集計が取れる情報、数値について記述してください。

#### ★家庭のエネルギー使用実態調査済（2-2）

把握できる数値：

- ・家庭のエネルギー使用量についてのアンケート結果あり（平成26～27年度）
- ・家庭での再エネ導入についてのアンケート結果あり（平成26～27年度）
- ・冷蔵庫の仕様や使用方法についてのアンケート結果あり（平成27年度）

不足している数値：

- ・家電に限ったエネルギー使用量の比較